

第 3 回霧島市総合計画審議会 会議要旨

開催日時	令和 4 年 10 月 27 日（木） 15：00～16:45		
開催場所	霧島市役所 3 階 庁議室		
出席委員	福永会長、宮本委員、鎌田委員、中條委員、池田委員、佐藤委員、新窪委員、高安委員、寺村委員、本田委員、白水委員、中島委員（計 12 人）		
事務局	出口企画部長、上小園企画政策課長、藤田企画政策グループ長、川床サブリーダー、藤山主任主事、織田主事（計 6 人）		
コンサル	なし		
	公開・一部非公開又は非公開の別	公開	傍聴人数
			0 人

会次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 第二次霧島市総合企画後期基本計画（素案）の諮問（霧島市長）
- 4 議事
 - (1) 総合計画策定の趣旨（序論）
 - (2) 後期基本計画（政策 1、政策 2、政策 6）
 - (3) その他
- 5 閉会

審議結果等の概要

⊕：委員 ⊖：事務局

・総合計画策定の趣旨（序論）

→事務局が資料に沿って説明。

総合計画策定の趣旨等が記載されている序論について、事務局案を報告。

⊖欠席した委員から、空き家、空き地の増加による地域の空洞化や、食料自給率の低下、第一次産業の衰退なども社会環境の変化に挙げてはどうかとの意見や、SDGs のアイコンを入れたことは良い工夫であるとの意見を事前にいただいた。

⊕「本市を取り巻く社会環境の変化」が前期基本計画と比較すると、霧島市の社会環境の記述がなくなっているが、記述しなくてよいのか。

⊖ここでは、全国的な社会環境の変化について述べ、具体的な本市の状況等については、各施策中の現状と課題で詳しく触れることとしている。

⊕「本市を取り巻く社会環境の変化」の「⑥持続可能な行財政構造」で、公共施設だけでなく、水道といったインフラの維持・更新も今後課題となるため、「インフラ」という言葉を入れるべきではないか。

⊖検討する。

・後期基本計画（政策 1、政策 2、政策 6）

→事務局が資料に沿って説明。

基本計画について政策ごとに説明した後、質疑応答。

（政策 1）

⊕KPI に「高校卒業時の市内就職率」がある。高校に限らず大学等の市内就職率を含めても良いのではないか。

⊖本市出身の学生が地元就職することを目的としているため、地元学生が多く通っている市

内の高校を対象としている。市内の大学は8割以上が市外、県外の学生であることから、目的に応じた成果が測れないと考えている。

園【施策で目指す姿】に「教育機関との連携」とあるが、中学校や高校を想定しているのか。教育委員会では中学生向けのキャリア教育事業等も行っているので【みんなができること】に教育機関ができることを加えてはどうか。

●教育機関は中学校からを想定している。【みんなができること】の記載については検討したい。

園外国人観光客の受入態勢や環境整備が今後必要になると考える。【みんなができること】に記載があるが、より具体的に書く必要はないか。

●ハード面の整備に力を入れているが、受入態勢についても深掘りしてまとめたい。

園観光の移動手段であるタクシー利用について、どのように考えているか。

●インバウンド対策として、タクシー事業者による乗客へのおもてなしや、電子決済などの利便性の向上を進めていく必要があると考えている。バスは小型化を進めており、バスからタクシーへの運行移行については調査、研究中である。

園農業基本法が見直され、食料の安全保障や事業形態が大きく変わる可能性がある。今後5年間の社会変化も織り込んだ施策にしてはどうか。

園【みんなができること】で地産地消を呼び掛けるために、事業所等は農家の取組や作物の魅力などを伝えることで、地域の農林水産物に親しみを持ってもらえるような取組をしてはどうか。

園農業に関わる人口は今後益々減っていく。新規就農者を増やすことも大事だが、既存農家や農地を引き継いでいく取組が必要ではないか。

●検討したい。

園KPIの現状値である起業・創業した11事業者の年齢層は。

●年齢層は把握していない。性別は男性7名、女性4名である。

園国も起業家精神の育成に力を入れており、どこの自治体も若者に対して起業家教育の施策を行っている。目標値のターゲットはどこであるのか明確にしておくべき。

（政策2）

園KPI「都市公園内の更新及び新設した公園施設数」とあるが、数よりも公園の利用目的や利用頻度、利用する年齢層など実態を調査・確認した方が市民の満足度が高くなるのではないか。

●市民アンケート結果の住み続けたい理由の一つに「公園・スポーツ・レジャー施設の充実」がある。そのような施設を新設、更新していくことで住み続けたい人が増えると考え、KPIに設定した。

園小中学校では循環型社会やSDGsの達成に向け、学習機会の提供や自分自身でできる取組を行っている。【みんなができること】にそのような取組を加えてほしい。

園事業所の【みんなができること】に資源の有効活用を書き加えてはどうか。ペーパーレス化は事業所だからこそ効果が大きく、IT化にも繋がる。

●検討したい。

園浸水想定区域など、実際には避難できない場所が避難所に指定されているといったことが全

国的に問題となっている。避難場所のリスクについても考慮していただきたい。

●現在指定している避難所の災害リスクは、看板を設置し周知している。

●「空き家等の資源を有効活用」とあるが、空き家バンクについての記載は必要ないか。

●空き家バンクについては政策5で記載することとしている。政策2では、危険廃屋の撤去や景観に関して触れている。

●KPIに「きりしま防災・行政ナビ」のダウンロード数を設定してはどうか。アプリを通じての情報発信や紙の削減にも寄与する。

●現在のダウンロード数は約8千件で、防災講座や転入者にチラシ配布等を行い普及啓発に努めている。KPI設定については検討する。

●KPIの「大気・河川の環境基準達成率」について、霧島市は温泉が湧いているため水質基準90%の達成は厳しいのではないか。

●制度の見直しにより基準が変わったので、達成が見込める状況となった。

(政策6)

●SNS等のツールを活用した取組をしていないのか。再生回数や「いいね」数で取組の進捗が数字で現れ、市民の関心度も分かる。KPIに設定してはどうか。

●KPIを各施策5項目以内としているため、SNSに関するKPIは入っていないが、検討したい。

●適切な課税や丁寧な説明をし、市民の信頼を得られるような対応をお願いしたい。

・その他

●全体的に【みんなができること】に教育現場ができることを加えてはどうか。子どもが小さいうちから環境問題等学ぶことが大事である。学校関係施策以外にも教育現場の取組を加えてほしい。

会議資料

○会次第

○第3回霧島市総合計画審議会資料1、2(政策1、2、6)